

2021年4月

各学部教職課程履修生・教育学部生の皆さま

教職教育研究センター
教育学部

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための注意喚起 －学外での各種実習に向けて－

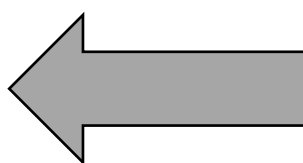
新学年・新学期を迎え、履修登録や授業出席などで慌ただしい毎日を過ごしていると思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、不安な毎日を送っておられると思います。4月に入ってから、特に大阪府・兵庫県で新型コロナウイルスの感染者が急増しており、昨年末からの第3波を超える勢いで急速に感染が拡大しています。

関西学院大学としても、対面授業からオンライン授業への移行など、この事態に対応する対策を講じてきていることはご承知いただいていることかと思いますが、特に各学部教職課程履修生、教育学部生の皆さまには、改めて以下のことをお願いする次第です。

皆さんは、大学外での教育実習、保育所実習、施設実習などを履修し、介護等体験やボランティア等への参加も多く、平素より子どもたちだけでなく、障がいや基礎疾患をお持ちの方々や高齢者の方々とも触れ合う機会があります。新型コロナウイルスに関しては、感染しても自覚症状がない場合があります。知らないうちに自分が感染を広げている恐れがあります。特に現在の自分の行動歴をよく振り返っていただき、これ以降も、換気が悪い場所（密閉）、人が集まる場所（密集）、近い距離での接触（密接）を極力避けてください。専門家会議によれば、「屋内の閉鎖的な空間で、人と人が至近距離で、一定時間以上交わることによって、患者集団（クラスター）が発生する可能性が示唆されます。そして、患者集団（クラスター）が次の集団（クラスター）を生むことが、感染の急速な拡大を招くと考えられます。」（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の見解」）

したがって、たとえ症状がなくても、手洗いやうがいの励行と合わせ、原則マスクの装着など感染の連鎖を断ち切る自覚を持って行動してください。

なお、関西学院大学では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を随時お知らせしていますので、必ず確認してください。



情報はここか

ら